

富谷市教育振興基本計画（案）パブリックコメントに対する市の考え

番号	ページ	関連項目	意見の概要	市の考え方
1	1	計画策定の趣旨	富谷市教育振興基本計画というのをサブ表題とし、本表題を工夫しては如何でしょうか。例えば図書館であれば「市の全てが図書館」などのように、メインタイトルとするかサブタイトルとするか「おっぴさん、ばんつあん・じいさん・親子どもの学の市」「子ども視点の学都とみや」とか。	本計画は、教育基本法第17条第2項に基づいての策定のため、特にサブタイトルの必要性はないものと考えております。
2-1	61	基本目標1 施策1-7 地域・学校・家庭の つながりの強化	富谷市の場合は「学校支援地域本部事業」として実施していますが、報道によると仙台市ですが、文科省は「コミュニティ・スクール」事業に移行しているのではないかと思います。我が市は、将来的にこのままで行くようにするのか、それとも、このまま「学校支援地域本部事業」として継続するか明記すべきです。少なくとも文科省のホームページを見る限りでは、「コミュニティ・スクール」へと移行するように見えますので、「コミュニティ・スクール」についても提起が必要ではないか。	コミュニティ・スクールの文科省の取組み、理念について十分に承知しております。先進自治体の取組みから成果と課題が提示されるのを待って、本市での取組を研究していく考えであります。
2-2	61	基本目標1 施策1-7 地域・学校・家庭の つながりの強化	「チーム学校」についても同様に、どのような対応を行うのか明記が必要ではないか。	チーム学校につきましては、本市の学校で数年前から、教員個々の特色、経験等をいかした組織的対応により、学校教育目標達成に向けて取り組んでおります。構築された「チーム学校」のベースのもと教育活動を行っておりますので、あえて明記をしておりません。
2-3	61	基本目標1 施策1-7 地域・学校・家庭の つながり強化	NPOや高校、大学との連携が必要ではないか。	教育活動のさまざまな場面で校外組織と連携・協働していくことは大切であります。現在行っている富谷高等学校や利府支援校富谷校との連携をさらに深めながら、ご指摘のあった他の機関・組織とも連携深めるように、1-3-3「キャリア教育の実施」1-3-4「情報活用能力の定着」1-4-3「障がいに関する理解の普及」1-5-3「福祉教育の充実」で記載しております。

3-1	-	-	<p>富谷市基本計画、富谷市公共施設等総合管理、行政改革でも取り上げられているので、特別扱う必要がないということかも知れませんが、教育関係におけるこれまでの財政状況を分析し、この教育振興基本計画を実施するにあたっての財政方針が必要ではないか。これまで財政全体の教育関係の予算は通常年で約15%前後で有り、最も経費が大きかったのは平成23年度の35.12%であり、「施設等総合管理」「行政改革」とあわせて、今後の予算措置をどのようにするのかを最初に検討すべきである。</p>	<p>ご意見のとおり、市の基本計画、行政改革実施プラン等で取り上げられているため、改めての検討はしていません。</p> <p>なお、市の広報とみや（4月号別冊）では市の予算と事業の中には教育費の予算概要等を掲載させていただいております。</p>
3-2	67 76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標1 施策1-8 快適・安全・安心な 教育環境の整備</li> <li>・基本目標2 施策2-2 公民館活動の充実</li> </ul>	<p>老朽化が進む施設に対する対応について次期に後回しになっていますが、「公共施設等総合管理」の提起を受け、教育施設、生涯学習施設について具体的に明示すべきであった。</p>	<p>計画の中で小・中学校等の教育施設及び生涯学習施設の「施設の長寿命化計画」で平成32年度目途に策定し、老朽化対策も併せた環境改善に取り組むことを明示しています。</p>
3-3	-	-	<p>防災拠点としての位置づけを具体的に明示されていない。災害時における学校解放問題、例えば、体育館だけでなく、医務室・調理室、プールの水等々を含め検討し、対応が必要ではないか。</p>	<p>市の地域防災計画の中で学校、公民館等が指定緊急避難場所として位置づけられているため計画の中には改めて掲載はいたしませんでした。</p>